

鹿島製油所における溶剤脱れき装置および発電設備の試運転開始について

記者各位

当社(社長:杉森 務)は、このたび、グループ会社である鹿島石油株式会社(社長:青山 信博)において溶剤脱れき装置(以下、「SDA装置」)、およびSDA装置を活用した発電設備の試運転を開始しましたので、お知らせいたします。

SDA装置は、石油精製の過程で生成する重質油を、「脱れき油」と超重質な抽出残渣(以下、「SDAピッチ[※]」)に分離します。脱れき油は、分解することで付加価値の高い石油化学製品原料や軽油製品を増産できます。

「SDAピッチ」は、新たな自社電源として鹿島北共同発電株式会社から取得・改造したボイラ・タービン発電設備の燃料として使用します。この電力は、業務用、産業用および2016年4月に販売を予定している家庭用電力「ENEOSでんき」として販売します。

これらの取り組みにより、需要の減退に伴い余剰となる重質油を、より付加価値の高い製品にシフトすることで、製油所の競争力強化を図ります。

当社は、今後とも、第2次中期経営計画の基本戦略である、石油精製販売の収益力強化、およびエネルギー変換企業としての電力事業拡大に取り組んでまいります。

※ 重質油留分から、灯油や軽油などの原料となる軽質油留分を抽出した後の副生物。常温(15℃)では固体だが、加熱(200℃程度)することで液体化させ、粘度調整用の基材を混合した後、ボイラ燃料として使用する。

<設備概要>

1. 溶剤脱れき装置(SDA: Solvent De-Asphalting)(新設)
 - (1) 建設地 鹿島石油株式会社 鹿島製油所(茨城県神栖市東和田4番地)
 - (2) 装置処理能力 1.8万パーレル/日
 - (3) 商業運転開始 2015年10月(予定)
2. ボイラ・タービン発電設備(鹿島北共同発電株式会社より購入・現地改造)
 - (1) 建設地 鹿島北共同発電株式会社(茨城県神栖市東和田16番地)
 - (2) 発電出力 12.5万kW
 - (3) 商業運転開始 2015年12月(予定)

以上

● 別添資料

 [別紙-1:装置フロー概要図](#)(PDF:115.6 KB)

 [別紙-2:鹿島石油株式会社および鹿島北共同発電株式会社の概要](#)(PDF:89.9 KB)